

進路部だより【新春特別号】



2020. 4. 8

いよいよ4月になり、新年度がスタートとなりました。

新2年生のみなさんは、これから部活・委員会などでもいよいよ中核を担う立場になっていきます。1年の時に足りなかった部分、頑張れなかった部分を、今年こそ挑戦してみてください。

新3年生のみなさんは、いよいよ卒業後の自分の将来を切り拓く大事な人生の岐路に立つこととなります。就職するにしろ、進学するにしろ、もう他人事ではありません。自分の進路は、自分の力で切り拓くものです。

◆企業が求める人材=ルールを守れる人

それぞれの会社には、それぞれのルールがあります。会社が、全然知らない高校生を採用しようとする時、その人物が信頼に値する人物なのかを様々な角度から見極めようとします。当然、会社に迷惑をかけるような人物は採用したくありません。始業時間によく遅刻する人やよく会社を休む人(=時間を守れない人)や、自分勝手に物事を判断し重大な事故を引き起こす可能性のある人(=ルールや規律を守れない人)は、どの会社でも絶対に採用したくありません。

では、どうやって信頼できる人材を見極めようとするか。

「時間を守れる人なのか」は、学校での遅刻や欠席の回数で判断します。

「忍耐力のある人なのか」は、部活動を3年間まじめに取り組んだのかで判断します。

「ルール・規律を守れる人なのか」は、面接での服装・頭髪などの身だしなみで判断します。

さて、なぜ「ルールを守れるかどうか」をその人の身だしなみで判断するのでしょうか？

なぜなら、各会社の人事担当は、学校の校則を理解しており、県内の高校で茶髪やピアスを許可している学校などほとんどないことを知っているからです。学校の校則すら守れない人が会社の様々な規律を守れるはずがない、制服をだらしなく着る人は、きつうちの会社の制服もだらしなく着る。工場内でだらしのない服装で働いている人がいる職場へ、外部から大事なお客さんが視察にきたら、その会社全体のイメージダウンにもつながるからです。

◆身だしなみ~その場で直せるものと直せないもの

企業がきらいな身なりは、①金髪・茶髪、②ピアス、③腰パン・短いスカート、④ネクタイ・リボンのゆるみです。

①の金髪・茶髪はその場では直せません。前もって染め直していかないとはいけません。②のピアスをもっと問題です。ピアスをとっただけでは穴が見えるからです。ピアスの穴だけで就職試験が落ちることは珍しくありません。穴がふさがるまで、しばらく時間がかかりますので、これもその場で直せないものとなります。

さて、③は、どちらでしょうか？腰パンは、当日あげればいい。スカートは腰で巻いてる分をさげればいい。そう考えれば、その場で直せるものとして問題にならなそうですが、そうはいかないのです。

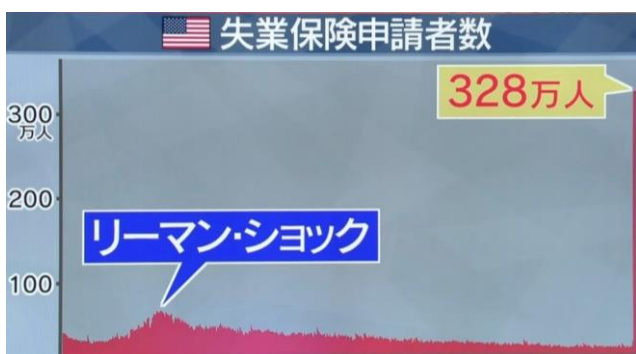
ある企業の採用担当の人は、「面接で、入室してきて、最初の3秒でだいたいその人の普段の身だしなみがわかる」と言っていました。なぜなら、普段から腰パンをずっとしているズボンや普通の状態にあげると、ひざの折れ曲がり部分にズレがあるのでよくわかるという事でした。女子のスカートも同じです。普段から腰で何重にも巻いて短くしていると、普通の状態にもどすと腰の部分に不自然な折り目ができてしまい、よくわかると言っていました。これらは、アイロンをかけてもなかなか直りません。

普段の着こなしがそのまま制服に消えない跡をつけてしまうのです。

◆景気悪化が心配されています

すでに様々なメディアで「今年の景気は悪くなる」「採用内定が取り消しになった」「コロナの影響で倒産した」など、ネガティブなニュースが流れています。その中でも今月2日のニュースは、今年の3年生に限らず、2年生諸君にとっても、進路を考える上で重大なニュースとなりそうです。

2日夜にアメリカの新規失業保険申請件数が発表され、664万8000件という圧倒的な過去最大の数字が出た。これはアメリカの失業数が爆発的に増えていることを意味し、この状況が数ヶ月続くとアメリカの失業率が世界恐慌時のレベルにまで到達することになる。【CNN.co.jp】



日本の経済はアメリカや中国の経済と深く関わっています。

アメリカや中国の景気が悪くなると、日本の景気も悪くなります。これから1～3年は不景気になることをある程度覚悟しないと、いけません。生徒諸君は、まずできることである、「学校生活をきちんと過ごす」「成績を落とさない」ということを今まで以上に意識して取り組んでください。

◆3年生諸君へ

[1]身なりをしっかり!

常日頃、容儀指導は、この日のためにあると思ってください。

競う相手は他校の生徒であり、合否を決めるのは、自分を知らない大人たちです。しかし、就職試験本番・AO 入試本番、競争相手は同じ高校3年生です。ほんのわずかな差で、合否がわかります。

悔いの残らない万全な態勢で本番に臨めるように、今から身なりを整えて生活しましょう。

[2]遅刻・早退・欠席を減らそう

どこの企業や学校でも、欠席・遅刻・早退の数は、とても気にします。ほとんどの企業では、「3年間通して欠席日数は10日未満が望ましい」と、よく言われます。では、もうすでに10日以上休んじゃった人は、まるっきりチャンスがないのか?そういうわけでもありません。勿論、トータルの数が少なければそれだけチャンスも広がりますが、1~2年で休んでしまっても、3年で欠席・遅刻・早退が限りなく0であるなら、うちの会社でがんばっていける「可能性」を見せることができるし、そこにチャンスがあります。まずは、今からでも欠席・遅刻・早退をしないようにがんばりましょう。

[3]成績を伸ばそう

就職試験は9月からスタートします。専門学校は10月から応募開始になります。大学・短大の推薦入試は、11月から応募開始になります。

それぞれどこに応募する場合でも学校から「調査書」というみなさんの学校での生活などを記録した書類を同封しなければなりません。その中には、当然1~3年までの成績も記載されるわけですが、3年の部分は、応募までに実施された定期考査の成績がそのまま3年の評価として記載されます。

9~10月にある就職や専門学校の応募書類では6月に行われた第1回考査の成績がそのまま3年の評価として載ることになります。ですから、6月の第1回考査は、みなさんの命運をかけた大事な考査です。全力で臨んでください。万が一、この考査で赤点をとるということは、赤点を解消するための追指導を7月に受けることになります。本来、この7月は、求人票を見たり、就職応募先を決めたりする大事な時期なのですが、追指導に気持ちも時間もとられて、本来やるべきことに集中できなくなり、一番大事な時期に大きなマイナスになってしまいます。

第1回考査は絶対に赤点を取らないようにしっかり授業に臨んで下さい!

[4]進路達成は団体戦!

進学でも就職でも、自分の進路を決定させるためには、いろいろ準備しなくちゃいけません。勉強したり、面接練習したり、いろいろ調べ物したり...そうやって自ら行動しなくちゃいけない時に一番大事なものがまわりの雰囲気です。全体の雰囲気がのんびりしいて「まだいいや...」なんて感じだと、自分もなかなか行動に移れません。進路を決めていくのは自分の力なので個人戦だと思われがちですが、本番までにどれだけの準備ができているかは、**集団の力**が大事です。

◆1・2年生諸君へ

外から見た岩出山高校のイメージは、実は1・2年生の**校外(登下校中・特に電車内など)での日頃の振る舞い**で決まります。そこでできあがったイメージをもとに3年生の進路が決まります。そして、3年生が切り開いた実績で岩出山高校は再評価され、あとに続く君たちの進路の可能性が広がっていくのです。

進路達成は岩出山高校全体の総力戦です。ぜひ、みなさんのご協力をお願いします!

今できること

今年度は新型コロナウイルスの影響があり、特に3年生の就職活動に関して、求人にとどの程度の影響があるのかなど心配されるところです。各企業においても、現段階ではなかなか先の見通しが立てにくい状況にあます。企業側からの高卒者に対する求人は6月に入ってからハローワークで受理され、7月から学校に公開される流れになります。したがって、5月の連休明け頃までには採用についての情報が得られると思われます。学校側としても、例年実施している職員の企業訪問等で情報を収集して生徒の皆さんにお伝えしていきます。生徒の皆さんも今、家庭でもできることを周りに先んじて各自が実践してください。就職でも進学でも、受験は「早いもの勝ち」です。早くから準備を進めて相手のことをよく理解し、そこに入社・入学できる自分に成長させることのできた人の勝ちなのです。

①自己分析・・・進路希望・適性・能力(社会人としてふさわしいか・学力など)

②希望する企業・大学・短大・専門学校等の情報収集(HP等で調べる)

学校生活が正常な状態に戻るまでの間、各自以上の①②について備えておいてください。